

研究部通信



第 6 号

平成 29 年

7 月 18 日

平成 29 年度 高等部 学部研究テーマ

卒業後に必要となる力を意識した、

主体的な学びにつながる「振り返り」のあり方

研究仮説

知識・技能の習得にとどまらず、自らの学習活動を振り返って次につなげることを重視した「振り返り」を深めていくことで、学んだことを生活の中で活用しようしたり、社会の中で出会う課題を解決しようしたりする能力や態度を育てることができるのではないか。

「授業づくりの 7 つの視点」

高等部では、次期学習指導要領改訂に向けて「授業づくりの 7 つの視点」を基に学部研究として授業作りを進めています。

昨年度は 7 つの視点のうち、①②④の項目（実態把握や目標設定）に取り組みました。

今年度は⑦「まとめ（振り返り）を工夫する」の項目に取り組みます。

なぜ「振り返り」？

「なりたい自分」「ありたい自分」を実現することが最大の目的です。そこにたどり着くための過程として、自ら、自分の行動や取り組み等を見直し、点検・修正していくことが必要で、これが「振り返り」ではないでしょうか。

学部研究のゴールは？

主に次の 2 点を検証します。

- ・学習したことが、学校生活や家庭生活で生きてくる場面があったか。また、そのような場面をどのように意図的に作っていったか。
- ・どのような授業作りや振り返りの仕方が効果的であったか。

アンケートを実施

第 1 回目の研究日には、①「生徒は学習したことを生活の中で活用できているか？」、②「どのような学び方や振り返りの工夫があれば、学習した知識や技能などが使えるようになるのか？」の 2 点についてアンケート方式で意見を出していただきました。

○生徒は学んだことを実際に使う場面が少ないので、意図的に設定してみることも必要。

○教師は、生徒が学んだことを活かしているイメージをしっかりと持ち、学んだことはどう使えるのかを生徒にも伝える。など

※アンケートの集計は、「H 2 9 共有フォルダー→高等部→学部研究→H 2 9 高等部研究第 1 回アンケート集計」

研究授業の予定（シー・リバーコースは単一学級、スカイ・レインボーコースは重複学級）

シーコース・・・1 年「理科」、2 年「家庭」、3 年「美術」

リバーコース・・・1 年「家庭」、2 年「家庭」、3 年「職業」

スカイ・レインボーコース・・・「コース生単」11 月 9 日 竹林地先生来校

ぜひ
ご参観ください